uchie
おもいやりをかたちに

ウチエのポータブルトイレ

さわやかチェア 泉Ⅱ
さわやかチェア PT
さわやかチェア PTW
さわやか CH

ご使用のしおり

最大使用者体重
100kg 以下

このたびは、弊社ポータブルトイレをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前には、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
本書は必ず保管しておいてください。
本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡しください。
お買い上げのポータブルトイレは改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

※この取扱説明書は、『さわやかチェア泉Ⅱ』『さわやかチェア泉Ⅱ(ホット便座)』
『さわやかチェアPT』『さわやかチェアPT(ホット便座)』
『さわやかチェアPTW』
『さわやかCH』『さわやかCH(ホット便座)』共用となっております。

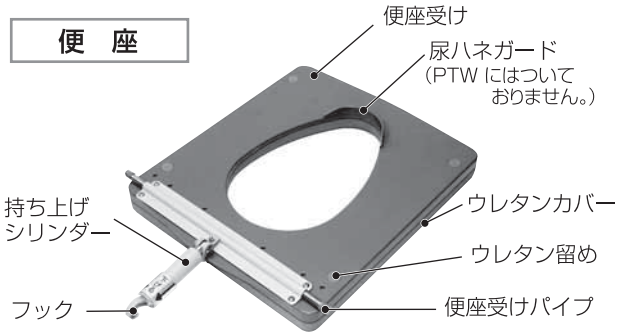
各部名称

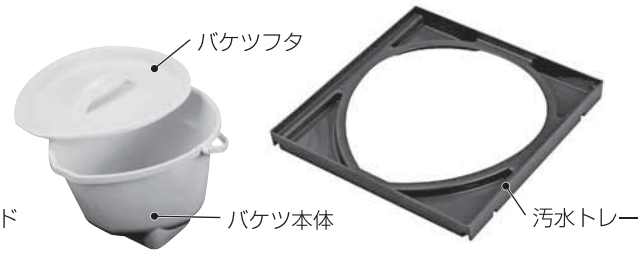
さわやかチェア泉Ⅱ

さわやかチェア PT
さわやかチェア PTW

さわやか CH

便　座





■ 付属品

- ご使用のしおり（本書）
- ペーパーホルダー（取付ねじ付）
- ニオワン（消臭剤）
- 六角レンチ

仕　様

単位:cm ※(　)はホット便座

	さわやかチェア泉Ⅱ	さわやかチェアPT	さわやかチェアPTW	さわやかCH
材　質	本体／天然木　便座／ポリウレタン、ABS　二重バケツ(泉Ⅱ、PT)/ポリプロピレン、(CH)/ABS　汚水トレイ／ABS			
重　量	約17.5kg(約18.5kg)	約18kg(約19kg)	約18kg	約15kg(約16kg)
バケツ容量	約10ℓ			
電　源	AC100V−35W	AC100V−35W	−	AC100V−35W

サイズ

単位:cm

	さわやかチェア泉Ⅱ		さわやかチェアPT		さわやかチェアPTW		さわやかCH	
	肘掛け自在	はね上げ	肘掛け自在	はね上げ	肘掛け自在	はね上げ	肘掛け自在	はね上げ
幅	52	53.5	52	53.5	56	58	51.6	53.5
奥　行	57.5	58.5	56	59.5	56	59.5	62.4	
高　さ	79〜88		79〜88		79〜88		78.5〜90.5	
座　幅（肘〜肘）	43	44.5	43	44.5	46	47.5	43.6	44.2
便座奥行	43.5		43.5		43.5		43.5	
肘から便座	19／21.5／24		19／21.5／24		19／21.5／24		19／21.5／24	18.5／21／23.5
便座高	34.5〜43.5		34.5〜43.5		34.5〜43.5		34.5〜46.5	
背シート奥行	46／48		46／48		46／48		46／48	

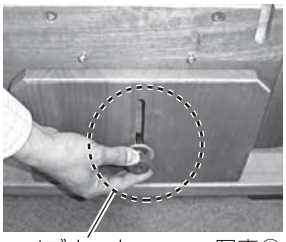
座面の高さ調節の仕方

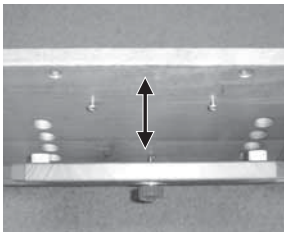
さわやかチェア泉Ⅱ　さわやかチェア PT　さわやかチェア PTW

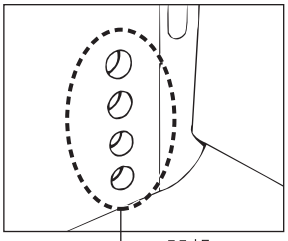
1.お座りパッドを上げて、バケツ、二重バケツ(泉Ⅱ、PT)、汚水トレイ(PTW)を外します。(写真①)
2.本体内側にあるノブナットをぎりぎりまで緩めます。(写真②)
3.本体内側の凹部から脚部の凸部を外してずらします。(写真③)
4.脚部の凸部をスライドさせて、ご利用になる高さに合わせます。高さ調節は、4段階です。
5.脚部の凸部を本体内部の凹部にはめ込みます。
6.ノブナットを締めます。

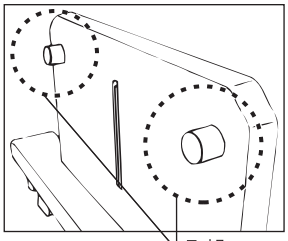
※高さ調節は片側ずつ行って下さい。
※ご使用の際はノブナットを必ずしっかりと締めてください。
※高さ調節が困難な場合は、ノブナットを緩め、脚部凸部を完全に外して調節してください。
※高さ調節は、本体を寝かさずに行ってください。本体を寝かされますと、傷がつく恐れがあります。

汚水トレイ　写真①


ノブナット　写真②


写真③


凹部


凸部

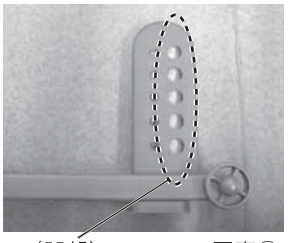
さわやか CH

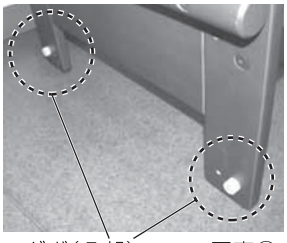
1.脚部の内側の2ヶ所のノブボルトを取り外します。(写真①②)
2.脚部の凹部を、ご利用になる高さで側板のダボ(凸部)と合わせます。高さ調節は5段階です。(写真③④⑤)
3.2ヶ所のノブボルトをしっかりと締めます。

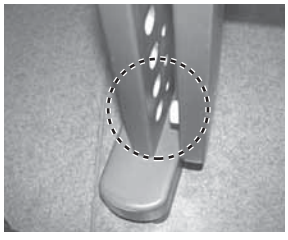
※バケツを取り外さなくても高さ調節ができます。
※高さ調節は片側ずつ行ってください。(4脚のネジをいっしょに外さないでください。)
※締める際は、1ヶ所ずつしっかりと締めるのではなく、2ヶ所を少しずつ仮締めしながら行ってください。
※4脚とも同じ高さに合わせてください。
※ご使用の際はノブボルトを必ずしっかりと締めてください。
※高さ調節は、本体を寝かさずに行ってください。本体を寝かされますと、傷がつく恐れがあります。

ノブボルト　写真①

写真②


(凹部)　写真③

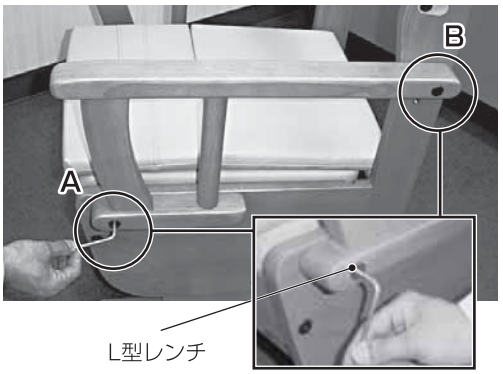

ダボ(凸部)　写真④


写真⑤

肘掛けの取り扱い方

●肘掛け自在タイプ

1.肘掛けはA、B2ヶ所のボルトで固定されています。付属のL型レンチを用いて抜いてください。
2.ご利用になる肘掛けの長さを上にして取り付け、A･B2ヶ所をボルトでしっかりと締めてください。短い肘掛けはベッド等への横移乗が楽になりますので、ベッドサイドでのご利用の際におすすめいたします。



●肘掛け自在タイプ高さ調節

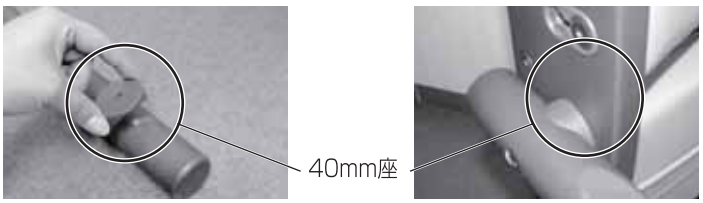
1.肘掛けはA、B2ヶ所のボルトで固定されています。付属のL型レンチを用いて抜いてください。
2.ご利用になる高さに合わせて取り付け、A･B2ヶ所をボルトでしっかりと締めてください。高さ調節は3段階です。

⚠注意

※ボルトは付属のL型レンチでしっかり締付けしてください。

さわやか CH

※必ず、本体と肘掛けの間に40mm座を取り付けてください。

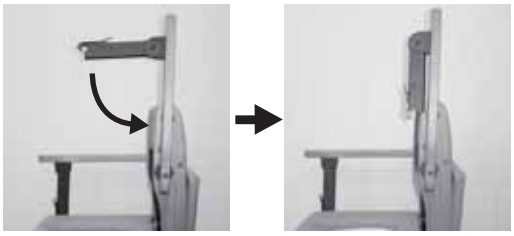


症状に合わせて肘掛けの長さが4通り付け替えできます

●肘掛けはね上げタイプ

1.肘掛けロックバーの上部を押すとロックが解除され、肘掛けをはね上げることができます。(写真①)
2.肘掛けが後方に上がります。(写真②)
肘掛けは写真③の所まで後方に回転させる事ができます。
3.後方にスペースがない場合は、肘掛けの支柱を肘掛けの裏側に収納することができます。(写真④⑤)
4.肘掛けを降ろし、肘掛け受けにはめ込むとロックされます。

写真① 写真② 写真③



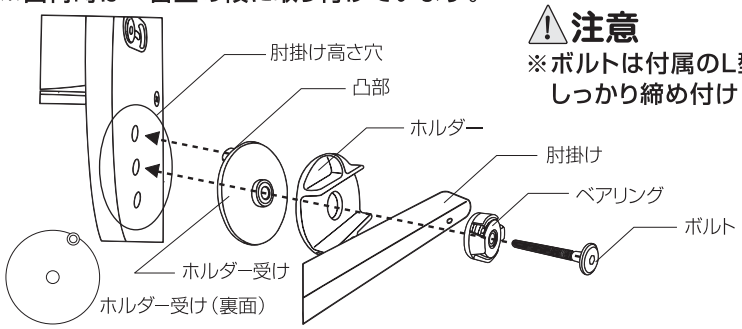
写真④ 写真⑤

※使用時は、肘掛けを定位置で必ずロックしてください。
※上がった肘掛けは後方へ回転しますので、寄りかかると危険です。
※固定した肘掛けの先端を内側から強く押さないでください。
ロック位置から外れますと危険です。
※肘掛けの支柱を肘掛けの裏側に収納した場合、必ず定位置に戻してください。

●肘掛けはね上げタイプ高さ調節

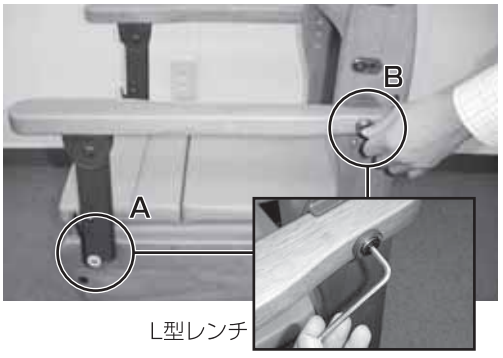
1. A･B2ヶ所のボルトを、付属のL型レンチを用いて抜いてください。
2.ホルダー受けの穴をご利用になる肘掛け高さの穴に合わせます。凸部を上、もしくは下の穴に合わせます。
3.ホルダー、肘掛け、ベアリングの順に取り付け、A･B2ヶ所をボルトでしっかりと締めてください。
高さ調節は3段階です。

※出荷時は一番上の段に取り付けています。



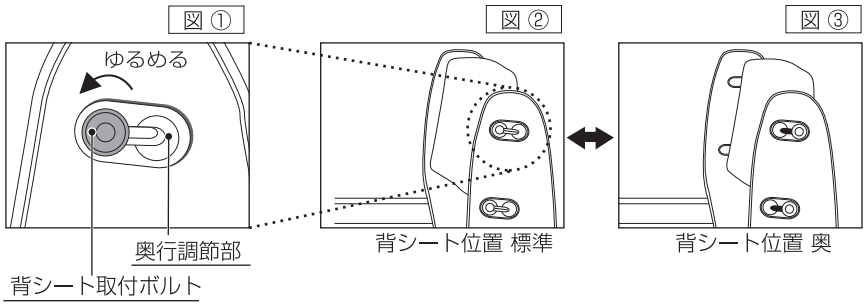
⚠注意

※ボルトは付属のL型レンチでしっかり締め付けしてください。



背シートの奥行調節について

1.背シートは左右4ヶ所の背シート取付ボルトで固定されています。付属品のL型レンチを用い、全ての取付ボルトが奥行調節部から浮く程度まで緩めます(図①)
2.背シートを前後にスライドさせます。(図②～図③)
3.4ヶ所の背シート取付ボルトを締め付けて、固定します。



⚠注意

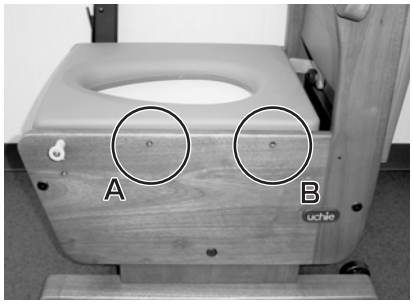
※背シートは斜めに取り付けができません。
※ボルトは付属品のL型レンチでしっかり締め付けしてください。

スペーサーボードの取り扱い方

ベッドとのスキマを埋めるスペーサーボードが、本体側面に付属されております。(肘掛けはね上げタイプのみ)
ベッドの位置に合わせて、左右どちらにでも取り付け可能です。
1.A･B2ヶ所のネジ穴にスペーサーボードを合わせます。(写真①)
2.A･B2ヶ所をボルトでしっかりと締めてください。(写真②)

⚠注意

※ボルトは付属品のL型レンチでしっかりと締めてください。スペーサーボード使用時は、ベッドの高さ調節には注意してください。スペーサーボードがベッドのフレームにあたり、転倒や故障の恐れがあります。

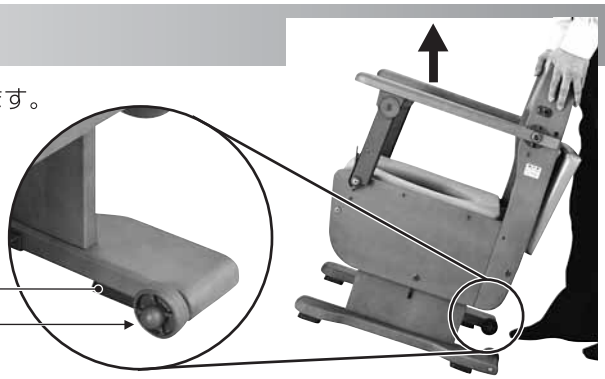


写真①

写真②

車輪について

右図のように本体を斜めに傾けると車輪が接地して、動かすことができます。
平面な所では脚部のゴムで固定しているので安心してご使用できます。
※お掃除のとき等、本体の位置を変えたいときにご利用ください。
※人や物をのせたまま移動させると故障やケガの原因になりますので、お止めください。



汚水トレイについて

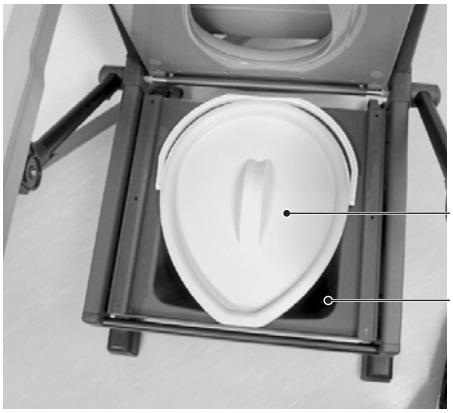
さわやかチェア PTW

さわやか CH

バケツの下に汚水トレイを設けております。
排尿の際に飛散した漏れによる汚れを防止します。

汚水トレイには設置する際にわかりやすいように[前シール]を貼っております。
シール箇所を手前に持ってきてはめ込んでください。

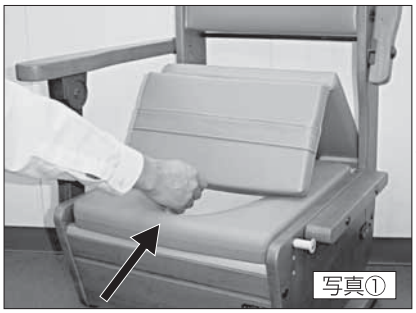
※さわやかチェア泉Ⅱ、さわやかチェアPTは汚水トレイがありません。二重バケツが直接バケツを支えます。



お座りパッドの上げ方

お座りパッドを写真①のように後方に押します。後方に押すと2つに折りたため、背もたれの下に収容されます。
パッド内側の汚れが背中に当る事がありません。

※戻す時はお座りパッドのひもを前方に引き戻して下さい。(写真③)
※お座りパッドに座る際は、バケツにふたをしてからお座りください。


写真①

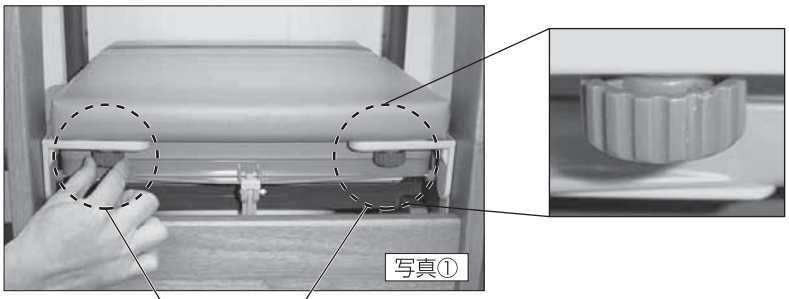
写真②

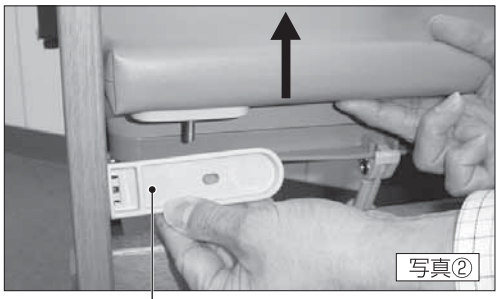
写真③

お座りパッドの外し方

1.本体後部からノブナットを緩めて左右とも外します。(写真①)
2.写真②のようにL型プラスチックを手で固定しながらお座りパッドを持ち上げて、外します。反対側も同じように行います。

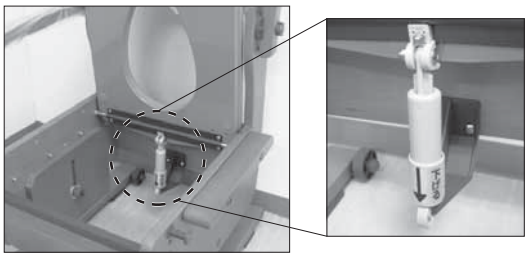
※ご使用の際はノブナットを必ずしっかりと締めてください。


写真①
ノブナット

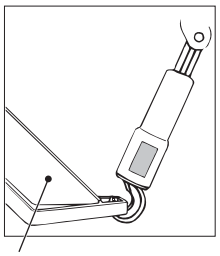

写真②
L型プラスチック

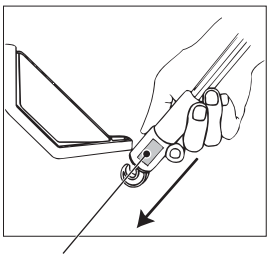
便座の外し方

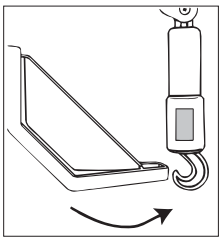
●便座の外し方
1.お座りパッドと便座を上げ、バケツと二重バケツ(泉Ⅱ、PT)もしくは、汚水トレイ(PTW、CH)を外します。(写真①)
2.持ち上げシリンダー('下げる'シール部)をつかみ、下に押し込んで本体から外します。(図①～図③)
3.便座を持ち上げます。


写真①

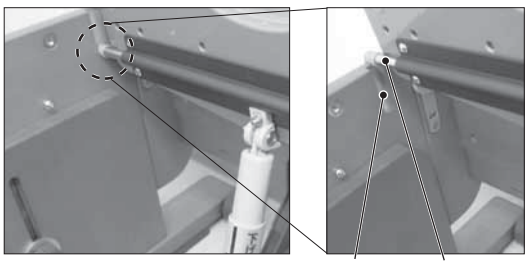
持ち上げシリンダー


便座固定部　図①

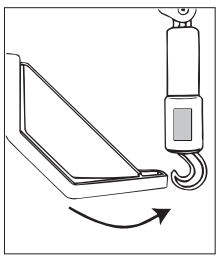

シール部　図②

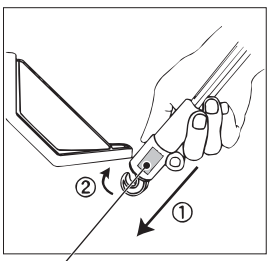

図③

●便座の取り付け方
1.便座の表にある便座受けパイプを本体の溝にはめ込みます。(写真①)
2.持ち上げシリンダー('下げる'シール部)をつかみ、下に押し込んで本体に装着します。(図①～図③)
3.便座を下げます。

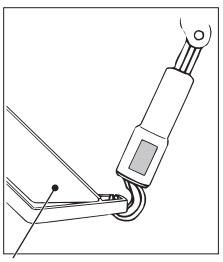

写真①

溝　便座受けパイプ


図①



シール部　図②


便座固定部　図③

便座ウレタンカバーの外し方

1.便座を本体から取り外し、裏（プラスチック部）を上にして置きます。（図①）
2.プラスチック部と表（ウレタンカバー）の間に指を入れて離します。（図②）

※ウレタン留めが飛び出さないようにゆっくり行ってください。
※便座を本体から取り外さなくても、ウレタンカバーだけを外して洗うことができます。

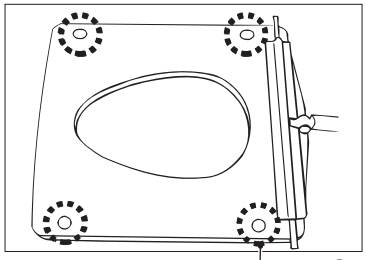


図 ①

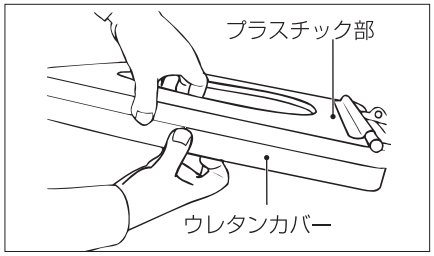
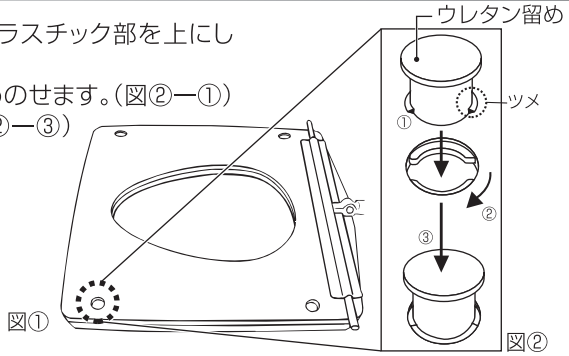


図 ②

便座ウレタンカバーの取り付け方

1.ウレタン留めを取り外した状態でプラスチック部とウレタンカバーを重ね、プラスチック部を上にして置きます。（図①）
2.穴にウレタン留めをのせます。このときウレタン留めのツメと穴の凹凸が合うようのせます。（図②ー①）
3.ウレタン留めを90度回転させ（図②ー②）、奥までしっかり押し込みます。（図②ー③）
4.他の3箇所も同様にウレタン留めを差し込みます。

※ウレタン留めは4箇所ともしっかり奥まで差し込んでください。
※ウレタン留めは取り外していると外れることがあります。
図②のようにツメをあわせて取りつけてください。
※「さわやかチェアPTW」にはウレタン留めはついておりません。
（取り外しは可能です。）

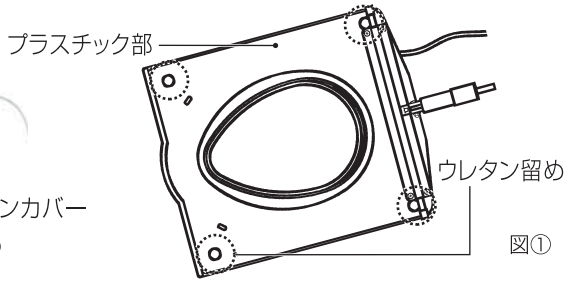


図①　図②

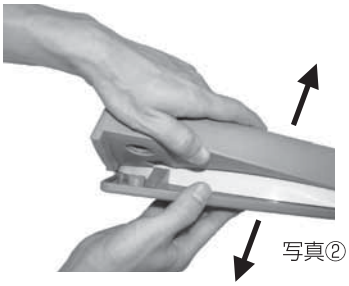
ホット便座ウレタンカバーの外し方

1.便座を本体から取り外し、ウレタンカバー（表面）を上向きに置いてください。（写真①）
2.ウレタン留め（4ヶ所・図①）周辺のウレタンカバーとプラスチック部の間に指を入れて、ウレタンカバーを取外してください。（写真②）

写真①



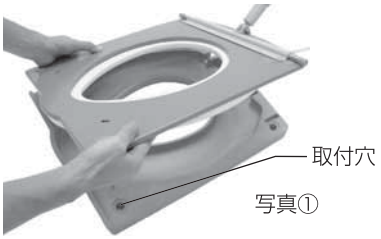
図①


写真②

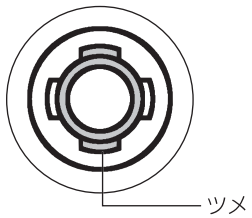
⚠ **注意**　**※ウレタンカバーはゆっくりと取り外してください。破損するおそれがあります。**

ホット便座ウレタンカバーの取り付け方

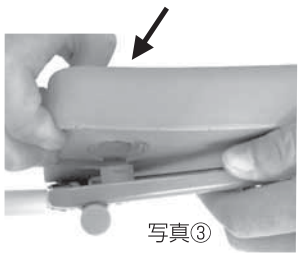
1.ウレタン留めのツメが90˚回転していることを確認し、裏返したウレタンカバーにプラスチック部をのせてください。（写真①）
2.ウレタンカバーの取付穴にウレタン留めを合わせ、ウレタン留めを押し込んでください。（4ヶ所・写真②）
ウレタンカバーが入りにくい場合は、ウレタンカバーをめくり、ウレタン留めと取付穴が合っていることを確認しながら、ウレタンカバーを押し込んでください。（写真③）



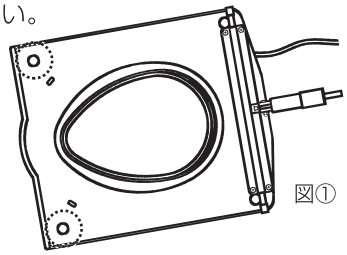
写真①

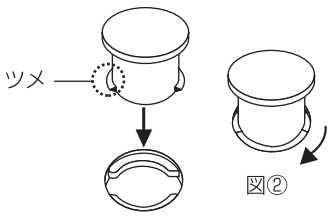


写真②


写真③

●ウレタン留めが外れた場合
1.裏返したウレタンカバーにプラスチック部をのせてください。（図①）
2.ウレタン留めのツメとプラスチック部の取付穴の凹部を合わせて差込み、ツメが抜けないようにウレタン留めを90˚回転させて、押し込んでください。
（図②・写真①）


図①



図②

写真①

二重バケツの取り扱い方

さわやかチェア泉Ⅱ
さわやかチェア PT

●取り外し方

1.お座りパッドと便座を上げ、バケツを取り外してください。(写真①)
2.二重バケツを真上に取り外してください。(写真②)

二重バケツ

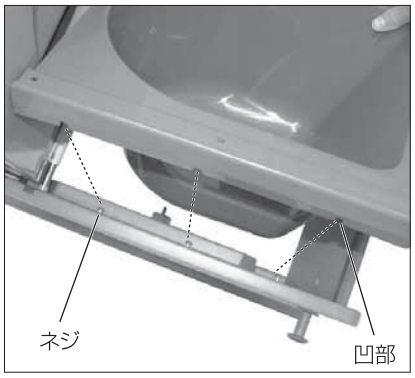
写真①

写真②

●取り付け方

1.お座りパッドと便座を上げます。バケツがあれば取り出してください。(写真①)
2.二重バケツの凹部をねじに合わせ(写真②)、二重バケツの突起の間に、バケツのリブが入るように(写真③)、バケツを差し込んでください。(写真④)

写真①



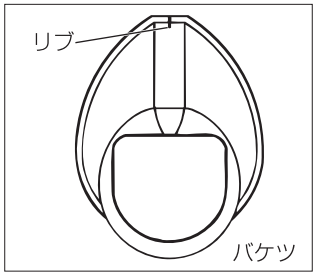
写真②

写真③

写真④

⚠注意

※二重バケツには前後があります。'前シール' が貼られた面を前にして取り付けてください。
※二重バケツに、バケツがしっかりと納まっていることを確認してください。
※便座を外したり取り付ける場合は、二重バケツを取り外してください。
※座面の高さ調節をする場合は、お座りパッドを上げ、バケツと二重バケツを取り外してください。
※二重バケツにバケツを取り付けた状態で使用してください。二重バケツのみで使用しないでください。
※二重バケツを直射日光に当てたり、熱湯をかけないでください。劣化し、破損、けがの原因となるおそれがあります。また、退色するおそれがあります。

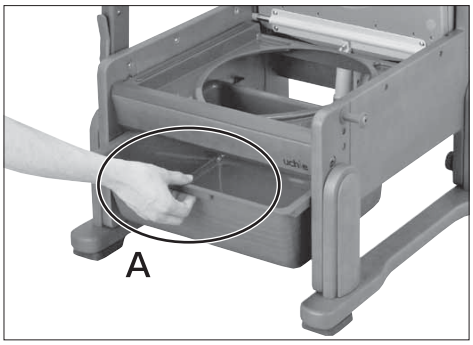


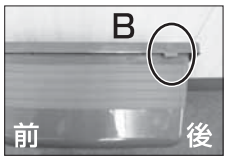
さわやか CH

●取り外し方

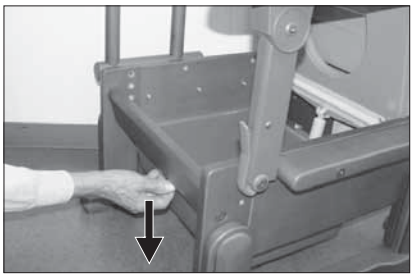
1.お座りパッドと便座を上げて、バケツを取り外してください。
2.二重バケツのA部をつかみ、一旦下げてください。
(B部が取付口から出るように)
3.下げた状態で、そのまま手前に引くと二重バケツが取り外せます。

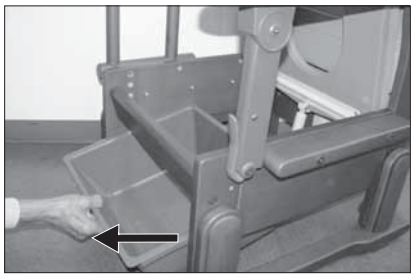
※A部がつかみにくい場合は、A部が下になるようにバケツ後方部を下から手で上げて傾けてください。

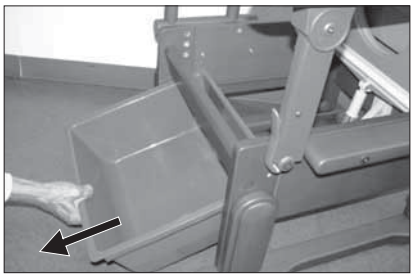




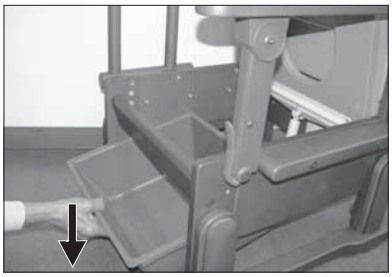
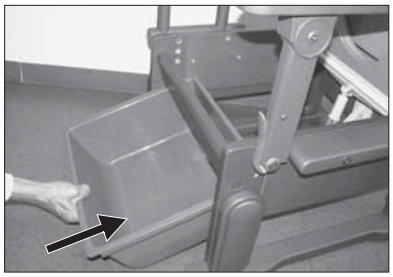
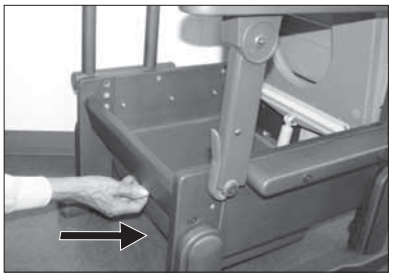
取付金具







●取り付け方
1.バケツを本体から取り外してください。
2.二重バケツを斜めにし、B部が取付金具に乗るまで押してください。
3.B部が取付口に入るまで、まっすぐ二重バケツを押してください。
4.二重バケツがしっかりと取付金具にはまっていることを確認してください。

※取り外す時も、取り付ける時も、二重バケツの後方部分を少し上げて行ってください。

⚠注意

二重バケツを取り外す前に必ずバケツを取り外してから行ってください。バケツが引っ掛かり、取り外すことができません。

※二重バケツは万が一の漏れの時に使用するものです。二重バケツのみで使用しないでください。

■トイレとして使用しない場合は…

バケツを取り外すと、普通の木製の椅子のようなデザインとなっております。
バケツ、二重バケツを取り外してお使いください。

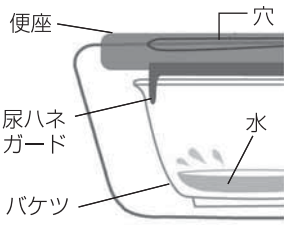
尿ハネガードについて

さわやかチェア泉Ⅱ
さわやかチェア PT　**さわやか CH**

便座は尿ハネガード付きです。尿飛び、尿ハネを防ぎます。

※使用状況によっては、尿飛び、尿ハネが起こる可能性があります。
※ホット便座には付きません。

尿ハネガード



便座とバケツのすきまを埋めます。

バケツふた収納について

さわやかチェア泉Ⅱ

バケツのふたがトイレ脚部に収納できますので場所を取らず、必要な時にすぐに取り出せます。脚部の間にあるアルミ板の上にふたを載せてください。床につかずに収納できます。

※移動の際はふたを取ってください。
落ちる可能性がございます。

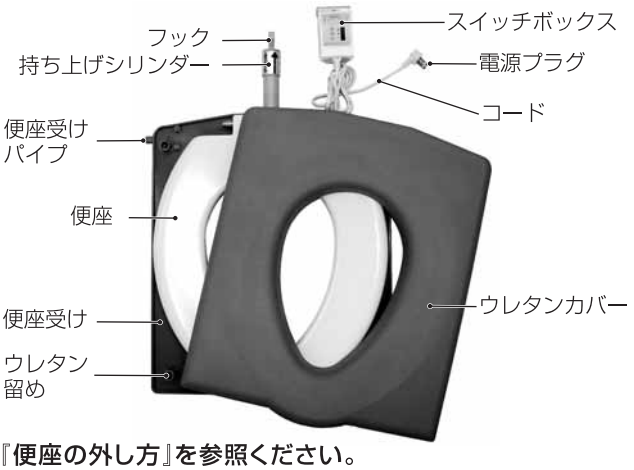
アルミ板

ホット便座について

さわやかチェア泉Ⅱ
さわやかチェア PT
さわやか CH

冬でも暖かなホット便座です。
表面はやわらかなので、長時間
座る方にも最適です。

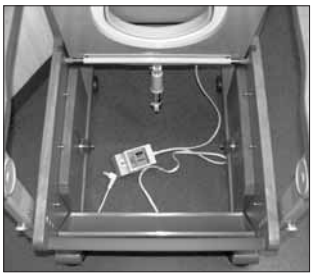
※ホット便座は後付けができます。



スイッチボックス

●ホット便座の取り付け時の注意
※ホット便座の外し方、取り付け方は、『便座の外し方』を参照ください。

1.ホット便座には電気コードがついていますので、便座をはめ込む時にはポータブルトイレ本体の中に電気コードを垂らしてから行ってください。(写真①)(外に出したまま行うと便座を下した時に便座と本体に挟まれ故障の原因になります。)
2.本体内に垂らした電気コードは本体の後ろ、もしくは横からコードを出してください。(写真②)
3.スイッチボックスにはコの字型金具がついていますので、便座と横板の間に挟んでご使用ください。(写真③④)


写真①

写真②

写真③

写真④

※肘掛け自在タイプで短い肘掛けを両側ともご使用の場合、スイッチボックスを便座と横板の間に挟むことはできませんので、後部の板に掛けてご使用ください。(写真⑤)

写真⑤

⚠注意

※スイッチボックスを必要以上に引っ張らないでください。破損、故障の原因となります。
※コードを便座とお座りパッドではさまないように注意をしてください。

●ホット便座ウレタンカバーの洗い方について

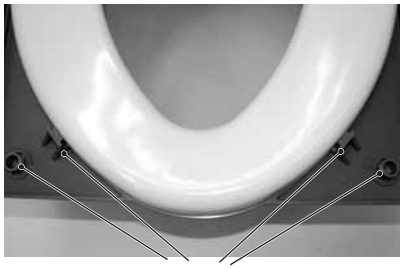
ホット便座のウレタンカバーと下の便座、便座受けは取り外しができますので、
洗えて清潔にご使用いただけます。
ホット便座はウレタンカバーのみ洗えます。便座、便座受けは乾いた布か水で
固くしぼった布で、拭き取ってお手入れください。

※便座、スイッチボックスは電化製品が含まれていますので、絶対に洗わないようにしてください。故障の原因になります。
※便座、便座受けのお手入れ時には、安全のため、コンセントを外して行なってください。
※ウェットティッシュ(アルコール入)でウレタンカバーを拭くと色落ちしますのでお止めください。

⚠注意 ホット便座ご使用時の注意

季節やご使用方法によってホット便座の体感温度が低く感じる事があるかもしれませんが、ウレタンカバーを外してのご使用は絶対になさらないでください。固定部品がついていますので、ケガをする恐れがあります。

電源を入れても便座はすぐに温まりません。
暖房が必要な方は使用しない時も電源を
入れたままにしてください。



ホット便座の取扱説明書

■ご使用方法

1.電源プラグをコンセントに差し込んでください。電源は交流100V(50/60Hz)です。
この時ほこりが付着していないか確認し、根元まで確実に差し込んでください。
2.電源スイッチを「切」の位置から「弱」または「強」にしてください。
なお、スイッチを入れても便座はすぐに温まりません。温まるまで約40分かかります。

※お座りパッドを開いたままですと温まりにくくなります。
※使用しない時は、お座りパッドを閉めてください。

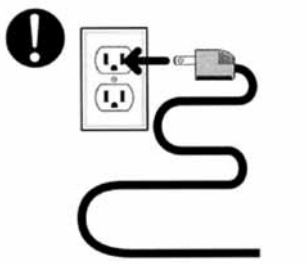
■仕様

定 格	AC100V-35W
表面温度	強/34～38℃ 弱/31～35℃ (室温20℃の時)
発熱体	ヒーター
スイッチ(温度調節)	強･弱 二段切替式
電源コード	ビニールコード
電源フラグ側	長さ1m

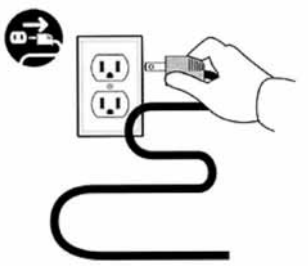
■安全上の注意事項 (安全のため必ずお守りください。)

ホット便座は電気製品ですので、バスルーム内などの水のかかる場所や、湿気の多い場所には絶対に設置しないでください。
感電や火災・故障の原因となります。

設置する室内にコンセントがあるか、コンセントがコードの長さの範囲にあるか確認をしてください。
コードを無理に引っ張ったり、継ぎ足しはしないでください。
電源プラグをコンセントに差し込んだまま、トイレ本体を移動させないでください。



電源プラグはコンセントにしっかり差し込んでください。
電源プラグにほこりが付着したりがたつきがあると、接続が不完全となり、感電や火災の原因となります。

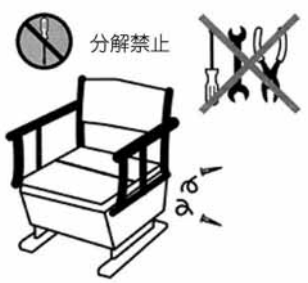


電源プラグを抜く場合は、プラグをもって抜いてください。コードを引っ張って抜くと断線し、感電や漏電、火災の原因となります。
長期間使用しない場合や、雷が発生している場合、お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜いてください。
感電や火災の原因となります。

健康な方には適温でも、温度感覚のない方などが使用する場合、低温やけどを起こすことがあります。下記のような方のご使用の際には、特にご注意ください。
- お子様やお年寄り
- 病人や身体の不自由な方
- 皮膚の弱い方
- 疲労の激しい方・深酒されている方・睡眠薬を使用された方

電源は、交流100V (50/60Hz) です。かならずこれに適した配線をしてください。感電や火災の原因となります。 コンセントは水のかからない位置に配置してください。

電源スイッチ・電源プラグ・便座に水や小便をかけないでください。
漏電や故障、感電の原因となります。



異常が発生した場合はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めいただいた販売店に連絡してください。分解はしないでください。異常のまま使用を続けたり、分解すると、感電や火災の原因となります。

お座りパッドや便座の上に乗ったり、重いものを載せないでください。
便座が割れたり、便座内ヒーターが断線するなど、漏電および感電の原因となります。

便座カバーは使用しないでください。
漏電、感電、故障の原因となります。

Memo

安全上の注意事項

ウチエのポータブルトイレ

さわやかチェア泉Ⅱ　さわやかチェア PT　さわやかチェア PTW　さわやか CH

使用上のご注意　安全のため必ずお守りください

●ネジがゆるんだ状態で使用しないでください。本体が壊れてけがをするおそれがあります。
その場合は必ずご連絡ください。
●肘掛けに腰かけたり、もたれたりしないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
●肘掛けに重いものを引っ掛けないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
●肘掛けをはね上げた状態で内外から荷重をかけないでください。破損する恐れがあります。
●肘掛けや背シートを斜めや他方向から押さないでください。本体が転倒してけがをするおそれがあります。
●背シートを立ち上がりや、つたい歩き等のために使用しないでください。本体が転倒してけがをするおそれがあります。
●背シートを後方に押さないでください。車輪で本体が動き、転倒してけがをするおそれがあります。
●本体を踏み台の代わりに使用しないでください。特に便座穴にあたる中央部に不可をかけるとお座りパッドが破損するおそれがあります。
●下肢の筋力低下により倒れ込むように座られると本体が破損するおそれがあります。
●座高の高さ調節をして脚が地面に付かない状態はお客様ご自身が転倒するおそれがあります。
●ベッドサイドなどでご使用される際、ベッドとトイレチェアの右、又は左側を隙間を開けずに隣接させてください。
●本体に直接水をかけて洗わないでください。
●ストーブ等の火のそばに近づけないでください。
●Pタイルやフローリングなど、硬質で滑りやすい床面でご使用される場合は、乗り降りの際に特に注意してください。
●本製品を本来の目的以外で使用する事や、お客様ご自身での改造や仕様変更が原因で起きた破損・事故に関しましては、補償対象外となりますのでおやめください。

お手入れ方法

●水拭きした後、乾いた布で拭き取ってください。
●汚れがひどい時には水で薄めた中性洗剤を布に浸し、強く絞って拭いてください。その後、乾いた布で拭き取ってください。※ご利用の洗剤の使用方法にあわせてください。
●木部を頻繁に拭きますと塗装がはがれるため、変色の可能性があります。
●お手入れには、トイレ用洗剤・塩素系、酸性、アルカリ性洗剤・除菌剤・殺虫剤・クレンザー・クレゾール・アルコール・ウェットティッシュ（アルコール入）・シンナー・ベンジン・灯油などの溶剤は絶対に使用しないでください。
また、ナイロンたわしなどを使ってお手入れをされますと傷みの原因となりますのでおやめください。

商品廃棄方法

各市区町村条例で定められた分別に従って廃棄してください。